



発掘 文学の宝



町では、本年度より「熊本県夢チャレンジ事業」を活用し、苓北町に残る文学の宝を発掘しています。今回は、苓北町にゆかりのある文豪たちを紹介する連載企画第3回目として、「五足の靴」のメンバーであり、この1月で生誕140周年の「北原白秋」をご紹介します。

企画／ドットワークス 下川嘉奈

北原 白秋

1885年1月25日 - 1942年11月2日
熊本県玉名郡関外目村生まれ

詩人、童謡作家、歌人。帝国芸術院会員。日本の近代詩に象徴主義を定着させた重要な詩人の一人。また、数多くの童謡の作詞家として知られている。



生誕 140年

言葉術の天才であった 詩人・童謡作家

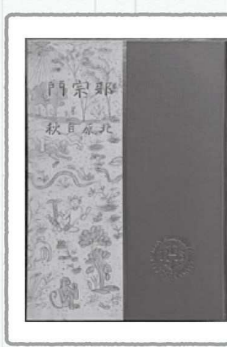
平井 建治

北原白秋は、明治末期、キリシタン文化探求で天草を訪れた青年詩人「五足の靴」の中心メンバーである。水郷・柳川出身の白秋は、伝習館中学を退学、父の期待を裏切り、早稲田大学予科に入学した。「早稲田学報」に長編詩が入選。与謝野鉄幹の新詩社「明星」に加わり、石川啄木・木下杢太郎・吉井勇・平野万里らと

交流した。そうした折り、鉄幹が4人の学生詩人を連れて、九州の南蛮旅行へ出発した。白秋は、この旅行体験をまとめて、明治42年3月に処女詩集『邪宗門』を発表。当時の詩壇に衝撃を与えた。昭和42年4月、本渡市は城山公園に、『邪宗門』の中から天草雅歌の一説「ただ秘めよ」を刻んだ記念碑を建立した。除幕式に招待された歌人・持田勝穂は、半世紀前の白秋の詩を朗読して胸を詰まらせた。その碑は今でも天草キリシタン館の玄関前に佇んでいる。ちなみに、天草雅歌の書き出しは、「四十年八月、新詩社の諸友とともに遠く天草島に遊ぶ。こはその記念作なり。〔※〕」

白秋の一方の代表作。叙情小曲集『思ひ出』は、同44年6月発表。序文「わが生ひたちは、柳川の風土を長文で映像ストーリー的に醸し出している。「春のめざめ」は、ソリバツテンの方言を多用して、異国情緒な詩情を彷彿とさせる。まさに、日本の原風景を追想させる白秋の真骨頂である。ところで、白秋の天性の詩

的交流した。そうした折り、鉄幹が4人の学生詩人を連れて、九州の南蛮旅行へ出発した。白秋は、この旅行体験をまとめて、明治42年3月に処女詩集『邪宗門』を発表。当時の詩壇に衝撃を与えた。昭和42年4月、本渡市は城山公園に、『邪宗門』の中から天草雅歌の一説「ただ秘めよ」を刻んだ記念碑を建立した。除幕式に招待された歌人・持田勝穂は、半世紀前の白秋の詩を朗読して胸を詰まらせた。その碑は今でも天草キリシタン館の玄関前に佇んでいる。ちなみに、天草雅歌の書き出しは、「四十年八月、新詩社の諸友とともに遠く天草島に遊ぶ。こはその記念作なり。〔※〕」



お勧め本

『邪宗門』

北原白秋著 日本近代文学館

「五足の靴」の旅を経て書かれた白秋の処女詩集かつ代表作の一冊。

贅沢な装丁の初版本は、なんと父からの送金による自費出版だったそうです。

